

講義名	対2)ブライダルコーディネーション論			授業形態	
担当教員	石橋 仁美	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

### 主題と概要

ブライダルビジネスに興味があり、将来ブライダル業界で働きたい人の第2弾「実践編」として設定しています。ブライダルコーディネーション論 から始まり、ブライダルコーディネーション論 を経てブライダルコーディネーション論 で完成してします。

では、ブライダル施設への見学では、現場に足を運び担当者から直接話を聞く体験と、模擬結婚式の企画・運営、計画から実行という二本柱で、座学ではなく実学を行います。見学施設までの交通費は自己負担となります。(神戸市内)

その後、公益社団法人日本ブライダル文化振興協会(B I A)認定のアソシエイト・ブライダル・コーディネーターの認定資格が取得できます。また2019年より国家試験となりました、ブライダルコーディネーター技能検定3級受験を視野に入れ、必要なスキルを学び、接客マナーなどウェディングプランナーとしての基本事項を習得することができます。ブライダルコーディネーター技能検定3級は、ブライダル業界で活躍するための最初のステップと位置づけられています。

### 到達目標

- ブライダルコーディネーション で学んだ人前式やプランナー業務について実践することができるようになる
- ブライダル施設会場の見学などにより、社会から学び、基本的な礼儀・マナーを身につけることができるようになる
- 模擬結婚式をプロデュースすることにより、備前を迫り立て、相互の協力することができるようになる
- ブライダルに関わる様々な職種を理解し、役割や提案をすることができるようになる
- ブライダルコーディネーター技能検定3級受験のための知識を身につけることができるようになる

### 提出課題

- 会場見学 各会場見学前に、会場について調べ、提出
- 会場見学後、各会場についてPowerPointを作成し発表する(PowerPoint提出)
- 模擬挙式について自分の役割を中心にふりかえりのレポート提出

### 課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

会場レポートについては、見学前に返却します。見学後のPowerPoint・模擬挙式についてのレポートは授業内にフィードバックします。

### 評価の基準

・会場見学前レポート	10点
・会場見学後PowerPoint	20点
・模擬挙式レポート	30点
・授業への取り組み態度	10点
・定期試験	30点

### 履修にあたっての注意・助言他

ウェディング情報誌・新聞・雑誌・テレビ・インターネット・インスタグラムなどで、ブライダルの話題に興味を持って追いかけてください。自分から積極的に情報収集し、授業のなかで積極的に分かち合ってください。見学など学外での授業の際は、スーツ着用のこと、本校の学生として恥ずかしくない振る舞いを心がけてください。

新型コロナウイルス感染症の蔓延状況により、見学の中止、人前式の実施ができない場合については、都度教師より連絡をします。基本的に、グループワークから個人ワークに変更になります。

### 教科書

・ブライダルコーディネーターテキスト	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	2800円		
--------------------	---------------------	-------	--	--

### 参考図書


### その他

必要に応じてプリントを配布いたします。

### 授業計画

ガイダンス  
ブライダルコーディネーター(ウェディングプランナー)の仕事  
多彩なブライダル会場を知る グループワーク  
ブライダル施設見学  
・式場見学 15分・チ・神戸  
ブライダル施設見学  
・ホテル見学 ANAクラウンプラザ神戸  
ブライダル施設見学  
・ハウスウェディング見学 北野クラブSOLA  
学外授業までの グループワーク・プレゼンテーション  
結婚式の歴史と現在の動向  
模擬人前式準備 グループワーク  
・チ・式場見学 役割分担  
模擬人前式準備 グループワーク  
・各役割ごとにブライダルアイテムの準備  
模擬人前式準備 グループワーク  
ブライダルアイテムの選定  
模擬人前式準備 グループワーク  
・ブライダルアイテムの選定  
・模擬挙式ハールール 教室にて  
模擬挙式の発表  
ブライダルクラウンプラザチャペル(仮)にて  
模擬ブライダルのまとめと振り返り  
ディスカッション・プレゼンテーション  
見学会場・日程は変更になることもあります。

<留意>  
・新型コロナウイルス感染症等の学校感染症への感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学困難となった場合は対面授業の中での対応とする。(オンデマンド授業へ移動はしない)

### 授業形態(アクティブ・ラーニング)

<input type="radio"/> A: PBL(課題解決型学習)	<input type="radio"/> E: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> W: ディスカッション、ディベート	E: グループワーク
<input type="radio"/> O: プレゼンテーション	O: 実習、フィールドワーク
キ: その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

### 準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

講義は、グループワークやディスカッションに重きを置きます。授業の前に、インターネットで調べ、自分なりの意見をもって授業出席してください。講義の際は、充電済みのパソコンもしくはスマホを持参してください。第一回・第二回キヤンパスウェディングについて大学4年生を見ることが、準備学修とします。質問に答えられる程度にしっかり予習すること。見学の際も、あらかじめ見学する施設についてHPを見て予習が必須です。毎回の見学の後レポートを提出していただき、最終的にPowerPointにまとめていただきます。模擬人前式について、インターネットなどで調べ、新しいアイデアを探してください。以上のことから、予習・復習には各120分程度必要です。

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この授業は、ブライダル関連企業に就業に必要な知識を学び、国家検定合格へと導きます。またブライダルコーディネーション における人前式の演技で、スキルを身に付け、ホスピタリティマネジメント能力・コミュニケーション能力の向上を図ります。また、人前式構築に関して、課題を解決し自ら考える力を養い、そこからさらに新たなアイデアを生み出すことを目的としてあります。ウェディングプランナーに求められる、ホスピタリティとコミュニケーション力・提案力・マネジメント力を身に付けることは、本学の学位認定・学位授与の方針と一致します。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

見学会場の会場についてのリサーチ、および見学後のPowerPointについて考え方や着眼点など、グループワークをし、発表してもらいます。自分の意見を持ち、自分の意見を自分の言葉で述べ、PowerPointを使って表現できるようにします。教師からの講義だけではなく、学生同士のディスカッションにより、新たな発見や他者への理解を深めます。特に模擬人前式では「お互いから学ぶ」ことができます。

### 実務経験の有無及び活用

実務経験あり  
銀行の役員秘書、派遣会社のスタッフ教育などのビジネスマナー教育及びハウスのウェディングプランナー経験やホテルブライダルのマネージメントの経験から、社会人としてすぐに役立つ知識を身につけ、大学でしか出来ない体験に活かします。

### 備考

課外学習については、時間割通りではなく週末などに行うこともあります。社会人と接しますので、必要なマナーについては厳しく指導します。自分の役割を果たすことは最低限必要なことです。アルバイトを通して、ブライダルにつながるものを選び、一層身につけます。